

株式会社三栄金属製作所

金属プレス、樹脂成形、 二次加工、組立までの一貫体制

海外発注可
納期相談
企画力自信有
オンライン技術
メイドインジャパン
量産対応



ベトナム人も混じって金属プレス加工を手がける（本社工場）

業務内容
水廻り金具ではOEMで
国内シェア50%

主に水廻りの金具や建築金物、OA機器部品を、金型の設計製作から金属プレス加工、樹脂成形、二次加工、組立まで一貫して手がけている。特に水廻りの金具では、国内でシェア50%を超えるOEM（相手先ブランド）製品を多数手がけ、プレス油を使わないノンオイルプレス加工など特殊材を使った金具も、多数納めている。金属部品の周りに樹脂を注入して金属と樹脂を一体化するインサート成形では、樹脂と金具の溶着やカシメにおいて、独自の技術や治具の設定方法を有しており、同社では、これらの製品の大きさや材料ごとに、4工場で分散生産している。

強み
オールラウンドな自社二貫
生産で時間のロス削減

文敬社社長は「オールラウンドの町工場として、手がけている部品ではすべての加工ができる」と胸を張る。金型のメンテナンスや設計の変更も自社で対応するため、金属プレス加工にスムーズに移行でき、時間のロスを最小限に抑えられる。社内で一貫生産しているため、クレームや難問題に対しても解決策や改善策を短時間に実行に移せる。金型を

熟知した熟練工、多くの加工ができる多能工が活躍している点も、優位性がある。整った検品・出荷の仕組み、幅広い顧客層、



職場体験で小学生も受け入れている

信頼関係を築いた協力会社や中小企業間とのネットワークも備える。

海外工場
ベトナムの日系大手
建材メーカーと直接取引

「グローバル町工場」もスローガンに掲げる。平成25年にベトナム・ロンアン省フックロン工業団地で工場を借り、従業員は約20名の規模で現地生産を開始した。同国には金属プレス加工会社が少ないため、現地の日系大手建材メーカーなどに頼りにされ、直接取引している。平成27年3月には国際協力銀行と国内取引銀行から約9000万円の融資を得て、設備拡充を図り、事業拡大を目指している。ベトナム工場では、日本の自社工場と勤めていたベトナム人が品質管理などで活躍しており、日本とベトナムの連携によるグローバルな事業を目指す。

今後の展望
自社ブランドメーカーを夢に
出展や人材育成に注力

文社長は「ものづくりの会社である限り、いつか自社ブランドのメーカーになりたい」と夢を打ち明ける。水廻りの金具ではOEM製品を手がけ、開発力もあるが、中小企業にとっては人材や資金、製品化した後の販路開拓が、高いハードルになる。そこで力を補い合うための他社との連携や、展示会への出品による製品ニーズの市場調査、展示会での企業プレゼンを通じて若手社員の育成にも取り組む。インテックス大阪（大阪市住之江区）で開かれる「新価値創造展」をはじめ、出展数は年4回程度に上る。「ベトナム工場でも自社製品を作りたい」と意欲を示す。

COMPANY PROFILE

株式会社三栄金属製作所

大阪27

ISO 9001

当社の歴史

昭和45年に長屋の片隅で小さなプレス機を置いて生産を始めたのが当社の始まりです。時代の変化に合わせてものづくりも進化させ、大阪府内に4ヵ所と工場を増やしてきました。平成25年にはベトナム・ロンアン省にも工場を新設し、日本と同様に一貫生産を行っています。

金属プレス加工の金型製作から樹脂成形、
二次加工、組立までを国内外で一貫して行っています。

ぶん けいさく
代表取締役 文 敬社さん



■主な事業内容

金型設計・製作、金属
プレス、加工樹脂成形
二次加工

■主な取引先（納入先）

建築金物メーカー、
水廻りメーカー、
OA事務機器メーカー

住 所／〒544-0006
大阪市生野区
中川東1-8-19
T E L／06-6754-7682
F A X／06-6754-7678
創 業／昭和45年4月
設 立／平成16年6月
資本金／300万円
従業員／50名

<http://www.sanei-1970.com>